

## 石綿が原因で発症する病気

石綿が原因で発症する病気は、肺がん、中皮腫（胸膜、腹膜、心膜、精巣漿膜）、石綿肺、びまん性胸膜肥厚、良性石綿胸水、などがあります。

また、病気ではありませんが「胸膜プラーク」という胸膜が肥厚して石灰化する症状があらわれることもあり、これは「アスベストを吸った」証拠になります。

### (1)石綿（アスベスト）肺

肺が線維化してしまう肺線維症（じん肺）という病気の一つです。肺の線維化を起こすものとしては石綿のほか、粉じん、薬品等多くの原因があげられますが、石綿のばく露によっておきた肺線維症を特に石綿肺とよんでいます。アスベスト粉塵を10年以上吸入した方に起こるといわれており、潜伏期間は15～20年といわれています。アスベスト曝露をやめたあとでも進行することもあります。

### (2)肺がん

喫煙とも深い関係にあることが知られています。アスベストばく露から肺がん発症までに15～40年の潜伏期間があり、ばく露量が多いほど肺がんの発生が多いことが知られています。治療法には外科治療、抗がん剤治療、放射線治療などがあります。

### (3)悪性中皮腫

肺を取り囲む胸膜、肝臓や胃などの臓器を囲む腹膜、心臓及び精巣漿膜を覆う膜などにできる悪性の腫瘍です。若い時期にアスベストを吸い込んだ方のほうが悪性中皮腫になりやすいことが知られています。潜伏期間は20～50年といわれています。治療法には外科治療、抗がん剤治療、放射線治療などがあります。

### (4)良性石綿胸水

胸水とは胸腔内に体液が貯留することであり、石綿以外の様々な原因によっても生じます。石綿を吸入することによって、胸膜炎による滲出液（胸水）が生じる場合を良性石綿胸水と呼びます。

### (5)びまん性胸膜肥厚

びまん性胸膜肥厚は慢性線維性胸膜炎の状態であり、胸膜プラークと異なります。びまん性胸膜肥厚は結核性胸膜炎など石綿以外の様々な原因によっても生じます。

以下、各機関で紹介している記事です。

独立行政法人 環境再生保全機構 ホームページ

<https://www.erca.go.jp/asbestos/what/higai/shikkan.html>

厚生労働省 ホームページ

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/faq\\_asbest02.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/faq_asbest02.html)

国立がん研究センター がん情報サービス

<https://ganjoho.jp/public/cancer/mesothelioma/index.html>

「がん情報サイト」オンコロ

<https://oncology.jp/cancer/mesothelioma>